

## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月4日

上場会社名 株式会社 島津製作所 上場取引所 東  
 コード番号 7701 URL <https://www.shimadzu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 上田 輝久  
 問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 荒金 功明 TEL 075-823-1128  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	305,858	10.8	45,457	38.9	46,632	43.5	33,877	43.5
2021年3月期第3四半期	276,053	△1.1	32,718	17.0	32,494	12.9	23,611	10.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 38,103百万円 (40.7%) 2021年3月期第3四半期 27,088百万円 (33.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	114.98	—
2021年3月期第3四半期	80.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	520,353	362,125	69.6
2021年3月期	497,459	335,504	67.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 362,125百万円 2021年3月期 335,504百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	19.00	34.00
2022年3月期	—	20.00	—		
2022年3月期(予想)				21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	425,000	8.0	61,000	22.6	62,000	28.2	44,000	21.9	149.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※上記予想に関連する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	296,070,227株	2021年3月期	296,070,227株
2022年3月期3Q	1,416,791株	2021年3月期	1,425,134株
2022年3月期3Q	294,650,693株	2021年3月期3Q	294,617,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2021年11月5日に公表しました通期の連結業績予想は、本資料において修正しています。
2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関連する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1)経営成績に関する説明 .....	2
(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1)四半期連結貸借対照表 .....	5
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
3. 補足情報 2022年3月期第3四半期 決算の概要 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス変異株の感染拡大に加え、半導体等の部材不足によるサプライチェーンの混乱が企業の生産活動に及ぼす影響が懸念され、依然不透明な状況は継続しています。一方、ワクチン接種の進展、各国政府の経済政策などにより景気回復が見られました。

このような状況のもと、計測機器事業は、ヘルスケア、官庁・大学向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、国内では補正予算を活用した設備投資が進み、回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も好調に推移しました。航空機器事業は、防衛分野における前年大口案件の反動減や民間航空機の需要が減少したことにより、厳しく推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,058億5千8百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益は454億5千7百万円(同38.9%増)、経常利益は466億3千2百万円(同43.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は338億7千7百万円(同43.5%増)となり、過去最高の業績を達成しました。

各セグメントの状況はつぎのとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、管理部門費の配賦方法を、より合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しています。前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の算定方法に基づき組替えて比較しています。

## I. 計測機器事業

ヘルスケアでは、医薬・受託分析向けに、主力の液体クロマトグラフや質量分析システムが好調に推移しました。新型コロナウイルス検出試薬キットや全自動PCR検査装置は業績に貢献しました。製造業では化学向けにガスクロマトグラフが増加するなど回復基調となりました。官庁・大学では、各国政府の予算執行が進んだことや大学の再開により、液体クロマトグラフ、質量分析システムなどが増加しました。

この結果、当事業の売上高は1,988億7千4百万円(前年同期比15.2%増)となり、営業利益は売上の増加などにより、378億2千5百万円(同35.5%増)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2021年3月期 第3四半期 (百万円)	2022年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	65,602	74,030	12.8	新型コロナウイルス検出試薬キットや全自動PCR検査装置が貢献。また、補正予算需要を取り込み、官庁・大学向けに試験機が増加。
北米	18,918	21,738	14.9	医薬、臨床向けなどに液体クロマトグラフなどが好調に推移したことに加え、官庁・大学の需要も回復。
欧州	18,451	21,536	16.7	食品安全や受託分析の需要が堅調に推移したことに加え、大学では前年の閉鎖の影響が解消し、液体クロマトグラフや質量分析システムが増加。
中国	44,213	50,207	13.6	医薬や受託分析による需要が拡大していることに加え、食品安全の規制が強化されたことにより、液体クロマトグラフや質量分析システムが増加。また、化学向けにガスクロマトグラフが増加。
その他のアジア	19,647	23,130	17.7	医薬向けに液体クロマトグラフや質量分析システムが増加。

## II. 医用機器事業

前年に海外で増加した新型コロナウイルスの肺炎診断で用いられる回診用X線撮影装置は一部地域を除き需要が減少しました。国内では、補正予算を活用した設備投資が進んだことでX線TVシステムやX線撮影システムが増加したことに加え、アフターマーケット事業も好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は468億6千2百万円(前年同期比1.1%増)となり、営業利益はアフターマーケット事業が好調だったことなどにより、41億2千6百万円(同70.5%増)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2021年3月期 第3四半期 (百万円)	2022年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	24,073	25,528	6.0	補正予算需要を取り込み、X線TVシステムやX線撮影システムが増加し、アフターマーケット事業も好調に推移。
北米	6,132	6,023	△1.8	医療機関の設備投資は回復基調にあるものの、前年の回診用X線撮影装置の反動減により減少。
欧州	3,823	2,661	△30.4	回診用X線撮影装置の需要が大幅に減少。
中国	3,999	3,553	△11.2	中国資本メーカーとの競争激化に加え、入札が遅延するなど設備投資が停滞。
その他のアジア	4,187	4,832	15.4	東南アジアにおいて新型コロナウイルスの感染再拡大により、回診用X線撮影装置の売上が大幅に増加。

## III. 産業機器事業

主力のターボ分子ポンプは、第5世代通信網への対応、IoTなどのDX推進による半導体需要の増加に伴い、半導体製造装置向けが好調に推移したことに加え、建材ガラス、薄膜太陽電池などのコーティング向けにも需要が拡大しました。

また、産業車両・建設機械・農業機械分野の需要が拡大し、油圧機器の売上も大幅に増加しました。

この結果、当事業の売上高は414億6千万円(前年同期比28.5%増)となり、営業利益は売上の増加などにより、44億5千7百万円(同90.3%増)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2021年3月期 第3四半期 (百万円)	2022年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	16,534	19,625	18.7	半導体製造装置向けターボ分子ポンプや、産業車両・建設機械・農業機械向けに、油圧機器が好調に推移。
北米	3,845	5,861	52.4	半導体製造装置向けターボ分子ポンプや、産業車両・建設機械・農業機械向けに、油圧機器が好調に推移。
欧州	1,607	2,157	34.2	半導体製造装置向けにターボ分子ポンプが好調に推移。
中国	7,179	9,699	35.1	半導体製造装置や建材ガラス・薄膜太陽電池のコーティング向けにターボ分子ポンプが好調に推移。また、産業車両・農業機械向けの油圧機器に加え、ガラスワインダも大幅に増加。
その他のアジア	2,990	4,017	34.4	半導体製造装置向けターボ分子ポンプの需要が増加し、アフターサービスも好調に推移。ガラスワインダも大幅に増加。

## IV. 航空機器事業

防衛分野は前年大口案件の反動減により大幅な減収となりました。民間航空機分野では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け航空機の需要が減少したことから減収となりました。

この結果、当事業の売上高は150億6千3百万円(前年同期比31.4%減)となり、営業損失は防衛分野の売上の減少などにより、6千9百万円となりました(前年同期は9億6千8百万円の営業利益)。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2021年3月期 第3四半期 (百万円)	2022年3月期 第3四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	19,188	12,305	△35.9	防衛分野における、前年大口案件の反動減。
北米	2,610	2,600	△0.4	民間航空機の需要が減少。

## V. その他の事業

当事業の売上高は35億9千7百万円(前年同期比24.6%増)となり、営業利益は7億6千5百万円(同38.3%増)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス変異株による感染再拡大のリスク、世界的な半導体や部材の不足によるサプライチェーンの混乱など不透明な事業環境の中、国内外で進むワクチン接種や治療薬の開発に加え、各国の経済対策により世界経済の回復が継続すると想定されます。

このような事業環境のもと、活発な投資が進む医薬などのヘルスケア市場で液体クロマトグラフや質量分析システムの拡販に加え、半導体製造装置向けターボ分子ポンプのシェア拡大を図ります。

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、2021年11月5日に公表しました予想を見直しています。

(単位:百万円)

	2022年3月期 連結業績予想	対前期 増減率	(参考) 前回公表時
売上高	425,000	8.0%	420,000
営業利益	61,000	22.6%	59,000
経常利益	62,000	28.2%	60,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	44,000	21.9%	43,000

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	112,760	139,518
受取手形、売掛金及び契約資産	117,857	104,582
商品及び製品	59,117	60,014
仕掛品	18,383	22,586
原材料及び貯蔵品	20,150	24,324
その他	9,296	10,589
貸倒引当金	△2,119	△1,935
流動資産合計	335,446	359,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,016	53,061
機械装置及び運搬具(純額)	6,366	6,927
土地	18,955	18,976
リース資産(純額)	2,275	1,879
建設仮勘定	1,703	655
その他(純額)	20,075	19,874
有形固定資産合計	102,392	101,375
無形固定資産		
11,615		10,819
投資その他の資産		
投資有価証券	13,663	15,777
長期貸付金	132	145
退職給付に係る資産	19,175	19,566
繰延税金資産	11,498	9,472
その他	3,883	3,862
貸倒引当金	△348	△346
投資その他の資産合計	48,005	48,476
固定資産合計	162,013	160,671
資産合計	497,459	520,353

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,424	62,310
短期借入金	1,462	1,504
リース債務	3,568	3,076
未払金	12,960	13,528
未払法人税等	7,645	3,956
契約負債	35,696	37,539
賞与引当金	11,430	5,428
役員賞与引当金	292	226
受注損失引当金	126	42
火災損失引当金	-	115
その他	9,490	11,396
流動負債合計	144,096	139,124
固定負債		
長期借入金	281	224
リース債務	4,945	4,440
役員退職慰労引当金	132	147
退職給付に係る負債	11,342	13,270
株式給付引当金	89	113
その他	1,066	906
固定負債合計	17,857	19,103
負債合計	161,954	158,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	34,910	34,910
利益剰余金	262,966	285,346
自己株式	△1,259	△1,243
株主資本合計	323,267	345,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,579	8,010
為替換算調整勘定	118	3,786
退職給付に係る調整累計額	5,540	4,666
その他の包括利益累計額合計	12,237	16,463
純資産合計	335,504	362,125
負債純資産合計	497,459	520,353



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	276,053	305,858
売上原価	166,253	176,339
売上総利益	109,799	129,518
販売費及び一般管理費	77,081	84,061
営業利益	32,718	45,457
営業外収益		
受取利息	146	189
受取配当金	332	218
受取保険金	142	76
助成金収入	646	563
為替差益	-	195
その他	320	504
営業外収益合計	1,588	1,748
営業外費用		
支払利息	111	123
為替差損	965	-
その他	735	448
営業外費用合計	1,811	572
経常利益	32,494	46,632
特別利益		
固定資産売却益	43	155
特別利益合計	43	155
特別損失		
火災損失	-	561
固定資産処分損	147	104
投資有価証券評価損	61	13
特別損失合計	208	679
税金等調整前四半期純利益	32,329	46,108
法人税、住民税及び事業税	5,177	10,686
法人税等調整額	3,540	1,544
法人税等合計	8,717	12,230
四半期純利益	23,611	33,877
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,611	33,877

四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	23,611	33,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,933	1,431
為替換算調整勘定	648	3,668
退職給付に係る調整額	△105	△874
その他の包括利益合計	3,477	4,225
四半期包括利益	27,088	38,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,088	38,103
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

## 1)セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および営業利益又は営業損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	172,583	46,357	32,258	21,965	273,165	2,887	276,053	-	276,053
セグメント間の 内部売上高	4	18	51	-	74	1,267	1,342	△1,342	-
計	172,587	46,376	32,310	21,965	273,240	4,155	277,395	△1,342	276,053
セグメント利益	27,924	2,419	2,342	968	33,654	553	34,208	△1,489	32,718

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	198,874	46,862	41,460	15,063	302,261	3,597	305,858	-	305,858
セグメント間の 内部売上高	6	45	84	10	147	1,516	1,664	△1,664	-
計	198,880	46,907	41,545	15,074	302,408	5,113	307,522	△1,664	305,858
セグメント利益 又は損失(△)	37,825	4,126	4,457	△69	46,340	765	47,105	△1,648	45,457

## 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、管理部門費の配賦方法を、より合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法に基づき作成したものを記載しています。

## 2)関連情報

地域ごとの売上高の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
128,283	34,477	23,985	55,398	26,886	7,021	276,053

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
135,086	40,314	26,461	63,468	32,014	8,512	305,858

(注) 本邦以外の区分に属する主な国または地域

米州 : アメリカ  
 欧州 : イギリス、ドイツ  
 中国 : 中国  
 その他のアジア : インド、東南アジア、韓国、台湾  
 その他 : オーストラリア、中近東、アフリカ

## 3. 補足情報

## 2022年3月期第3四半期 決算の概要

行 番		2021年3月期	2022年3月期	対前年同期		2021年3月期	2022年3月期	
		第3四半期	第3四半期			実績	予想	
		連結累計期間	連結累計期間	増減額	増減率			
1	売上高	百万円	276,053	305,858	29,805	10.8%	393,499	425,000
2	売上高(計測機器)	百万円	(172,583)	(198,874)	(26,291)	(15.2%)	(248,550)	—
3	売上高(医用機器)	百万円	(46,357)	(46,862)	(504)	(1.1%)	(66,903)	—
4	売上高(産業機器)	百万円	(32,258)	(41,460)	(9,201)	(28.5%)	(45,082)	—
5	売上高(航空機器)	百万円	(21,965)	(15,063)	(△6,901)	(△31.4%)	(28,560)	—
6	売上高(その他)	百万円	(2,887)	(3,597)	(709)	(24.6%)	(4,401)	—
7	地域別売上高【日本】	百万円	128,283	135,086	6,803	5.3%	193,420	—
8	地域別売上高【海外】	百万円	147,769	170,771	23,001	15.6%	200,078	—
9	海外売上高(米州)	百万円	(34,477)	(40,314)	(5,836)	(16.9%)	(47,793)	—
10	海外売上高(欧州)	百万円	(23,985)	(26,461)	(2,475)	(10.3%)	(32,703)	—
11	海外売上高(中国)	百万円	(55,398)	(63,468)	(8,070)	(14.6%)	(72,872)	—
12	海外売上高(その他のアジア)	百万円	(26,886)	(32,014)	(5,128)	(19.1%)	(37,094)	—
13	海外売上高(その他)	百万円	(7,021)	(8,512)	(1,490)	(21.2%)	(9,615)	—
14	営業利益	百万円	32,718	45,457	12,738	38.9%	49,742	61,000
15	経常利益	百万円	32,494	46,632	14,137	43.5%	48,378	62,000
16	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	23,611	33,877	10,266	43.5%	36,097	44,000
17	1株当たり四半期(当期)純利益	円	80.14	114.98	—	—	122.52	149.33
18	1株当たり配当金	円	—	—	—	—	34.00	41.00
19	設備投資	百万円	10,539	10,100	△439	△4.2%	14,471	16,000
20	減価償却費	百万円	11,491	12,072	581	5.1%	15,536	16,500
21	総資産	百万円	458,758	520,353	61,594	13.4%	497,459	—
22	純資産	百万円	311,613	362,125	50,512	16.2%	335,504	—
23	自己資本比率	%	67.9	69.6	—	—	67.4	—
24	連結従業員数	人	13,292	13,479	187	—	13,308	—
25	連結子会社数	社	76	76	—	—	76	—
26	(日本)	(社)	(23)	(23)	—	—	(23)	—
27	(海外)	(社)	(53)	(53)	—	—	(53)	—